

与論島を活性化させるためには、どのようなことをすればよいか

工学部電気電子工学科 酒元啓佑 学籍番号：2511220341

私は与論島に行き講義や見学を通して、農業、漁業、観光の3つから与論島を活性化できるのではないかと考えました。

農業についてですが、私は今まで与論島での有名な特産品というのを知りませんでした。したがって与論島でどのような農業をしているのかとても気になっていました。そして、実際に行ってみると当たり一面はさとうきびがありました。しかし、お土産屋さんの黒糖などであったり、有村酒造の有泉の原料の黒糖も沖縄のものと聞いてとても驚きました。資料を見る限り与論島の特産はさとうきびなのかと思いましたが、実際は補助金等がでるから作っているだけなのではと思いました。もしそうなのでしたら TPP のことなども考えるとこれからもさとうきびを作るのは良い選択には思えません。気候の問題などがあるかもしれませんが、新たな特産品となるもの、与論島＝これ、と思われる作物が必要なのではないのでしょうか。そして、その特産品となりうるのはマンゴーではないと思います。たしかにマンゴーは熱帯のようなところでとれるというイメージがあり、与論島に適した果物と考えますが、台風などの気候的なことはもちろんですが、すでにマンゴーといえば、宮崎というイメージが消費者にはあるため、気候の問題をクリアしても与論島の特産として消費者に認識されることは難しいのではないのでしょうか。南国でとれるもしくはとれそうな見た目の果物であり、沖縄では有名でも全国的に知名度があまり広がってないものを作り、ブランド化するのはどうかと考えます。消費者は南国の果物には非常に興味をもっているはずですので、見た目的にも味にも南国を感じられるものはとてもうけがいいと思います。例えば、アテモヤやキワノなどはとても良いのではないのでしょうか。キワノは少し調べると高血圧や動脈硬化、糖尿病の予防に有用とされ癌の発生を抑えたり、味覚の働きを保つことを改善する作用がある。また食物繊維も豊富で、腸の働きを良くするなどあります。これは非常に健康にもよく南国の果物らしく非常にうけが良いのではないのでしょうか。私はこのように、果物であること、南国でとれるものであること、全国的な知名度が未だそれほどないもの、健康に良いこと。これらの条件にあう作物を生産していくことで、農業の面から与論島を活性化できると考えます。

次に漁業についてですが、全国でよくいわれている後継者不足で困っていないというのは非常に喜ばしいことなのではないのでしょうか。しかし、漁業資源の減少や燃料の高騰、本土からとても離れた離島による流通の問題があるようです。漁業資源の減少については漁業協同組合さんにより資源の回復を目的として、一部海域で禁止区を設けたり、幼魚はなるべく捕らないようにするなどの努力をしているということによろしいのではないのでしょうか。燃料の高騰については、最近になってシェールオイルが秋田県で発見されたことにより、量が少なかったり採算があわないとしても海外へ日本に資源があるということがアピールでき今よりいくらか燃料の価格は安くなる

ように思います。またメタンハイドレードや藻からとれる、オーランチオキトリウムやボトリオコッカスのどちらかが採算があうようになることで解決できるのではないのでしょうか。与論島が本土からとても離れた離島であることによる流通の問題ですが、与論島でとれた魚を加工し出荷するのはどうでしょうか。加工をしてから出荷することで本土から遠い離島でも市場にだす必要がないわけですからいづらか流通の問題が解決できると思います。

最後に観光についてです。与論島は海が非常に綺麗でした。これだけでも来る価値があると思います。しかし、資料を見たところ、与論島の観光客は減少傾向にあります。その理由を私なりに考えてみると、与論島の街に活気がない、海以外の観光資源にめぼしいものがない、島民の人がいい意味でも悪い意味でもゆっくりしていることです。与論島に来る前に銀座通りをパンフレットでみて非常に楽しみてきましたが、いざ着いて銀座通りを見てみると、特に人も多くなくびっくりしました。また通りにも統一性がなくごちゃごちゃしてるイメージがありました。与論島は沖縄や屋久島と比べると比較的小さい島ですから、ターゲットにする年代を決めても良いのではと思いました。例えば 20 代をターゲットにするのであれば銀座通りをもっとおしゃれにしたり、価格を安めに設定したり、華やかなものを増やすべきだと思いますし、高齢者をターゲットにするのであれば落ち着いた、ゆったりできるイメージの街づくりをしていくのがいいと思います。また、ターゲットにする年代によって宣伝方法も変えるべきだと思います。若者に対してテレビやラジオの CM で宣伝してもコストに見合った効果はでないのではないのでしょうか。それよりもインターネットの動画投稿サイトに与論島の PR 動画を投稿する、所謂オタクと呼ばれる人達向けのイベントをするなどが、効果が高い気がします。

また島民の方たちの対応が非常に遅い気がしました。食事のときでは注文してからの待ち時間が長く、またバスが来るのが少し遅れたり、見学をさせてもらうところとの連絡がうまく伝わっていない気がしました。

以上が私なりに考えた与論島の活性化方法です。